

## 「日本酒フェア 2021」についてのお知らせ

令和3年6月2日

1911年(明治44年)の第1回開催以来、今年度で第109回目となる令和2酒造年度全国新酒鑑評会では、出品酒821点のうち、入賞413点、金賞207点が選ばれました。審査総評では、今年の出品酒は「原料米が溶けにくく、また酒造期の急激な寒暖差などに苦勞する年であったが、出品者の方々が原料米の選択から原料処理、麴造り、もろみ管理、上槽と製成に至るまで細心の注意を払い、最高の技術が注がれた良質の吟醸酒です。」と評価されました。

そのお酒を東京の会場で楽しんでいただく公開きき酒会を6月19日に開催することを予定しておりましたが、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により残念ながら中止を決定いたしました。酒蔵からの声を生でお届けする「オンライン日本酒フェア2021」は、10月に開催する予定です。

コロナ禍のもと、全国の酒蔵は、今年も良いお酒を醸し、皆様に味わっていただきたいとの思いで、酒造りに取り組んでおります。お酒は単独で存在するものではなく、人や料理、雰囲気などとのつながりがあってこそ、その魅力をより発揮できるものです。一刻も早くコロナが収まり、皆様が安心して、お酒を楽しんでいただける日が来ることを祈念いたしております。

日本酒造組合中央会 広報部